

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	表現研究 I (CR)		(TCH104)
講義名（コード）	TCH_表現研究 I_C		(TCH104C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	渋谷 里美	時間数	30
成績評価教員	渋谷 里美	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が立場の異なる他者と適切に対話するために、その場に応じた表現で自分の意見が伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法を自在に運用できる力を身につける。またN1レベルの文法を理解できるようにする。
授業時間外の学修	予習：練習帳のN3の箇所を事前にやっておく。 復習：授業で学んだ文法を復習する。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	L1の表現が理解できる	ガイダンス（年間授業スケジュール） L1 行為の対象「～について、～に対して」文法解説、練習帳
2	L2の表現を理解できる	L2 目的・手段・媒介「～のように、～によって」文法解説、練習帳
3	L3の表現が理解できる	L3 起点・終点・限界・範囲「～はじめ、～にわたって」文法解説、練習帳
4	L3の表現を使用できる	L3 起点・終点・限界・範囲「～はじめ、～にわたって」応用練習
5	L4の表現が理解できる	L4 時点・場面「～に際して、～において」文法解説、練習帳
6	L4の表現を使用できる	L4 時点・場面「～に際して、～において」応用練習
7	L5の表現が理解できる	L5 時間的同时性・前後関係「～たとたん、～うちに」文法解説、練習帳
8	L5の表現を使用できる	L5 時間的同时性・前後関係「～たとたん、～うちに」応用練習
9	L6の表現が理解できる	L6 進行・相関関係「～一方だ、～につれて」文法解説、練習帳
10	L6の表現を使用できる	L6 進行・相関関係「～一方だ、～につれて」応用練習
11	L7の表現が理解できる	L7 付帯・非付帯「～ついでに、～ぬきで」文法解説、練習帳
12	L7の表現を使用できる	L7 付帯・非付帯「～ついでに、～ぬきで」応用練習 期末試験対策
13	期末試験	期末試験
14	期末試験解説	期末試験解説
15	【課題】	春学期の復習

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『どんなときどう使う文法練習帳』
参考文献・資料等	『どんなときどう使う日本語表現文型500』 『日本語文型辞典』
備考	